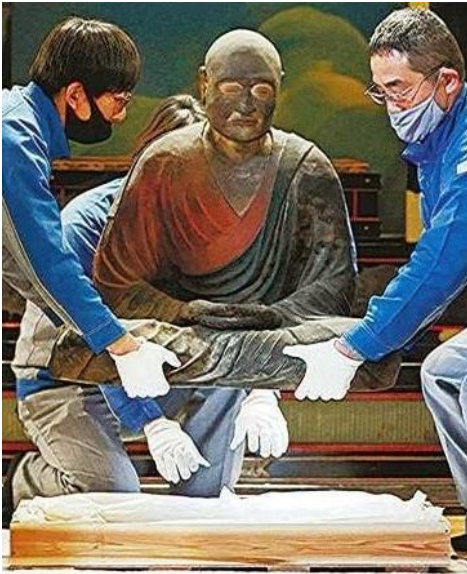


年 組 名前

2021年3月8日付夕刊



搬出される国宝の鑑真和上坐像
＝8日午前、奈良市の唐招提寺で

鑑真和上坐像 京都へ

唐招提寺から12年ぶり搬出

京都国立博物館（京都市）で二十七日から始まる特別展「鑑真和上と戒律のあゆみ」に向け、奈良市の唐招提寺で八日、国宝の鑑真和上坐像（八世紀）の搬出作業が行われた。像が寺を出るのは二〇〇九年以来という。

午前九時ごろ、寺の文化財の収蔵庫「新宝蔵」内に置かれた像に向かって僧侶が読経し、寺を離れる間

安全を願った。像を収めた厨子から、専門スタッフが慎重に運び出し、像をライトで照らし点検した。その後、像の顔部分などを美術品の梱包専用の柔らかい紙で覆った。

鑑真（六八八～七六二年）は中国・唐時代の高僧。渡航失敗や失明を乗り越え来日し、唐招提寺を開くなど日本仏教の質の向上に貢献した。寺の鑑真像は、本人が死去する直前に作られた可能性があると考えられる。

問1：唐の制度や文化を取り入れようと、中国に送った外交使節を何といいますか。 ()

問2：中国から鑑真を招いたのはだれですか。次から選びましょう。

ア 小野妹子 イ 聖武天皇 ウ 行基 エ 藤原道長

問3：なぜ鑑真を中国から招いたのでしょう。その理由を調べてみましょう。